

認

知症をもっと知ろう！

西東京市では、10月の1か月間を「認知症を知るキャンペーン期間」として、認知症についての普及啓発活動を展開しています。

▲ 資料展示・貸出

中央図書館 保谷駅前図書館
芝久保図書館 谷戸図書館

の4館では、

認知症関連書籍の展示や市のチラシ類、市内認知症家族会のお知らせの配布等を行っています。



- ◆『認知症の人の心の中はどうなっているのか？』 佐藤真一著 光文社 2018.12(保谷)
- ◆『あかりさん、どこへ行くの?』 近藤尚子作 江頭路子絵 フレーベル館 2016.10(芝久保)
- ◆『認知症で使えるサービスしくみお金のことがわかる本』 田中元著 自由国民社 2018.6(谷戸)
- ◆『尊厳ある介護―「根拠あるケア」が認知症介護を変える―』 里村佳子著 岩波書店 2019.5(芝久保)
- ◆『よくわかる!行動分析による認知症ケア』 野口代著 山中克夫著 中央法規出版 2019.8(中央) などなど……

▲ パネル展示

期間:10月13日(火)~10月20日(火)

場所:谷戸図書館入り口

内容:

- ★ 認知症カフェの紹介
- ★ 認知症サポーター・ボランティアの紹介
- ★ 認知症サポーター養成講座を受講した学校
児童・生徒の感想文(抜粋)など

こちらのパネル展示は移動式のため、谷戸図書館での展示期間前後は、下記のスケジュールで市内を巡回しています。

○10月1日(木)~10月9日(金)

田無総合福祉センター1階

○10月22日(木)~10月30日(金)

田無庁舎2階展示コーナー



第3回

今日は何の日

10月27日

『読書の日』

この日は、11月9日まで続く読書週間の最初の日となっています。戦前に実施していた、図書館事業の発展を目指す「図書館週間」を引き継ぎながら、「読書の力によって平和な文化国家をつくろう」と1947年に創設されました。秋の夜長に、ぜひ図書館から本を借りて読書を楽しんでみてはいかがでしょうか。



Chiratto Vol.25

2020年10月-2020年11月号

特集1

認知症をもっと知ろう！

特集2

旅々の記

連載

今日は何の日

お知らせ

西東京市図書館からのお知らせ FM西東京で紹介した本



色々な旅のカタチをどうぞ

『旅する舌ごころ』

(白洲信哉 誠文堂新光社 2018.11)
鎌倉からイスタンブール、イタリア... 孫が食でたどる白洲夫妻と小林秀雄の思い出。食べてみたい、飲んでみたい品ばかり。

旅

『太陽系観光旅行読本』

(オリヴィア・コスキー 原書房 2018.2)
事前準備は念入りに。月の史跡を見学し、アクティビティには水星のサンドスキー、冥王星のクワルフ領域はいかがですか？宇宙の旅人必携の書。

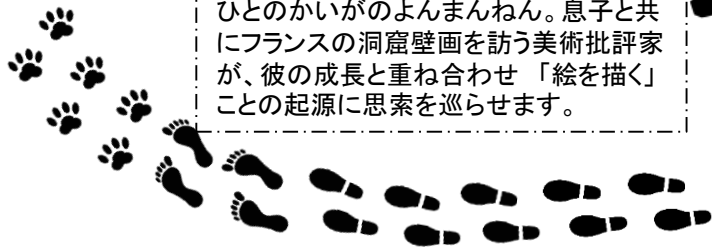
『洞窟壁画を旅して』

(布施英利 論創社 2018.9)
ひとのかいがのよまんねん。息子と共にフランスの洞窟壁画を訪う美術批評家が、彼の成長と重ね合わせ「絵を描く」ことの起源に思索を巡らせます。



『バックパッキング登山紀行』

(四角大輔 柘出版社 2018.8)
歩いてしか、見られない景色がある。衣食住の全てを背負い、大自然に分け入った山とフィッシングの旅。



『会社員自転車で南極点に行く』

(大島義史 小学館クリエイティブ 2016.10)
普通の会社員が、『自転車で南極に行きたい』という夢ひとつで幾多の障害を乗り越え、南極点に立つまでの記。特別でなくても、夢を諦める必要はないのです。



『イザベラ・バードの旅の世界
ツイン・タイム・トラベラー』

(金坂清則 平凡社 2014.9)
19世紀英国、50年にわたり世界を旅し、膨大な旅行記を著わしたイザベラ・バード。当時の図版と現代の写真でその足跡をたどります。

記

『おきなわ湧き水紀行』

(ぐしともこ ボーダーインク 2016.10)
樋川(ヒージャー)に井戸(カー)、沖縄の暮らしを支えてきた数々の湧き水。今も地域で大切にされる神聖で楽しい湧水の思い出や佇まいが伝わります。

西東京市図書館からのお知らせ
制限付き開館のご案内

当面利用できるコーナーに制限があります。また、ご来館にあたってはマスクの着用とできるだけ短時間でのご利用をお願いしています。詳しくはお電話または図書館ホームページでご確認ください。

F M西東京で紹介した本

『絵本のようにめぐる世界遺産の物語』
(村山秀太郎/本田陽子監修 昭文社 2020.6)

人間の文化的営みを伝え、歴史ロマンあふれる世界遺産。モアイ像は何を見ているの？「清水の舞台から飛び降りる」と言われる清水寺では本当に飛び降りた人がいるの？ピサの斜塔はそのうち倒れてしまうの？意外と知らないちょっとした疑問とともに、62か所の世界遺産を美しい写真で紹介しています。パラパラとめくって眺めているだけでも楽しく、もっと世界遺産のことを知って、学びたくなるような1冊です。

『戦国信長・光秀・秀吉の戦い』
(二木謙一監修 河出書房新社 2020.6)

通常、戦国時代の三武将を並べて比較すると信長、秀吉、家康となりますが、やはり今年は光秀を交えるのが流行りでしょうか。四章仕立ての第一章では、11人の戦国大名について書かれており、家康を除いた、戦国時代のポイントを押さえることができる教養本的な作りになっています。

発行：西東京市図書館
<http://www.library.city.nishitokyo.lg.jp>

